

阿佐ヶ谷美術専門学校同窓会
2002年度第3回常任幹事会議事録

●日時
平成15年1月25日(土)15:00~17:00

●場所
阿佐ヶ谷美術専門学校 図書室

●出席者
秋元圭一 [会長]
土橋洋一 [常任幹事]
西田一成 [常任幹事]
西尾雅江 [常任幹事]
松岡和彦 [常任幹事]
浜村圭一 [常任幹事]
小山 弘 [常任幹事]
藤原成理 [常任幹事]
中島かおる [常任幹事]
角谷祥子 [常任幹事]

●委任欠席
浅見 博(→西田氏)
菊池 満
川島昭作(→西田氏)
西谷之男
(→秋元氏)
渡部征明(→秋元氏)
小川素治(→秋元氏)

常任幹事出席者10名
委任状7名
欠席 6名
定足数成立

●議事進行
議長・進行/西尾雅江
●書記/内田文子

●議題
議題/1
各委員会からの報告
(次年度の活動計画・予算案について)
議題/2
平成15年度・常任幹事選出の詳細と
スケジュール
議題/3
次回日程

[常任幹事会]

議題1/各委員会の進行状況

●HPの現状報告

web担当松岡氏は、内容の更新など情報は流れているが、依然として掲示板の書き込みが少ない事などを報告した。その他にリンクの要望があり、リンクページの設置も提案した。それに対して秋元氏は、リンクに関しては常任幹事会で決めなくてもよいのではないかとし、委員会の判断で進めてもらう事を確認した。

また、秋元氏は前回決定した同窓会名簿(名前のみ)を載せる件については、同窓会生の人数の総数など、きちんとした形になりしだい載せることを約束した。

●名簿連携の現状報告

名簿連携担当西田氏は、学校側担当の新井氏から、ファイルメーカー書類に移項する作業を業者へ発注した事を報告した。また、学校側から総会でこの件についての発表をして欲しいと要望があったことも合わせて伝えた。さらに西田氏は「校内の調整などで時間がかかっているようで、まだ構築中であり、サンプルはモニター等をプリントアウトした一枚の用紙しかありません。プログラムも作っている段階で、3.4月から動く予定のようですが、時間的に余裕もなく不安です。近日中に現物や状態をみせてもらいたいと思っていますが、学校側の対応も気になります」と現状を説明した。またデータのコンバートにふれ、同じファイルメーカーでも項目の設定しだいで移項が難しいことも付け加えた。

期日に対して藤原氏は、「3.4月から動くものは、就職や成績処理の部分だけで、全体はそれ以降、順次作業に入る予定です」と答えた。さらに、やっと電子化された状態なので、松岡氏、藤原氏の方でも、学校側へ同窓会名簿の重要性を言及する事を約束した。また、現在の同窓会の名簿管理を、年度ごとに渡部氏(学校側)に頼んでデータ化している事と、在校生支援の方でその作業を行っているようだが、今後はやり取りの方法を明確化して改める必要があるとした。

秋元氏はプリントアウトした用紙を見て、これが学校側か、業者側のどちらのプランのものかの確認を求めていくと共に、学校のフォーマットに同窓会のデータベースは合わせていく方向を提案した。「学校側に同窓会の入力費用を出してもらって、すべてを学校側に管理してもらうのはどうか」「基本的には名簿を管理しているのは学校側だと思うので、学校側に出してもらって管理してもらったほうがいいのでは」「同窓会でチェックはしたい」「名簿を作るという根本的な事は同じなのだから一本化するべきではないのか」「コンバートさせることは難しいのではないのか」「あくまでも同窓会は必要な部分をソートして活用できればよいだけの話なので学校側に作っていただき、同窓会でアクセス権をもっていただければいいのでは」「今のサンプルでは不明点が多いのでは」などの意見が出た。その他に、学校側との項目立てを考えていく必要性について「科ごとの項目分けはせず、学年一本にしていいと思う」「選挙をしていく時に今までの部分をどう残していくか」「名簿と選挙は切り離せないのか」「名簿は学校からの情報で深く考えないほうがいいと思う」などの意見が出た。

秋元氏はまとめに入り、データベースについては、学校側の方向性にそって同窓会も柔軟に合わせながら、会員番号等の情報などについては、できるだけこちら側の要望も採用してもらう事などを確認した。また、予算面では、同窓会の意見を取り入れてもらうために予算が発生する場合に話し合う事として、あくまでも学校側の予算内でお願いする方向で話し合いを進める事とした。

●次年度の活動計画・予算案

事務局西尾氏から、各委員会は次年度活動計画・予算案を2月末中に、また、決算報告書は3月末の会議の時に提出願いますとの発表があった。予算額は今年度と同様としたいが何か活動計画がある委員会については、次回会議で検討するので2月末の提出時までに出してほしいことを伝えた。秋元氏も秋にパーティを開催したいつもりがあるので、前年度を参考にしながらすみやかに提出してもらう事を求めた。

また、秋元氏は広報担当の藤原氏に対し「今年度から始めた『あさしん』の同窓会挟み込みの予算は足りているのでしょうか？もし増ページなどを考えているのなら予算枠を増やしますが」という質問に対し藤原氏は「予算は充分足りており、次年度も同じ方向で考えていきたいと思っている」として今回と同様の予算案を出すつもりであることを述べた。

議題2 / 平成15年度・常任幹事選出の詳細とスケジュール

●平成15年度・常任幹事選出

事務局西尾氏から今年度選挙にあたり、幹事で連絡先不明の人が10数名程いるが、投票用紙にはその方達の名前が載っており、もし当選した場合どのように扱えばよいかという議題があがった。それに対し、今回の選挙に関しては、選管のスケジュールに沿って1月末を目度に見直し、それでも探し出せない場合は、そこを空欄にした状態の投票用紙を送るといった意見が出て全員の了承を得た。

さらに、今後空欄が出た場合の補充方法を検討しなければならないが、その方法についての意見を求めた。それに対し「パーティなどの機会に推薦などを検討してみてもどうか」「同年代の人達で話し合ってもらって決めてもらうか、積極的に動いてくれそうな会員を選んで決めるのはどうか」「今の規約の範囲では同じことになるかと思うので、選挙の制度を改める方法を考えてみるのもいいのではないか。その場合は規約改正になるので、そのあたりまでを含んだ上で検討してみてもどうか」「もっとシンプルな方法で選べないか」などの意見が出た。

また「現在の幹事の中で、相手の承諾をとって、推薦という形で幹事を交代したいという通知が来ているが、承諾していいか」という意見に対しては、代替りの人がいるのであれば引き継ぐ方向で今回は進めることを承認した。欠員選出方法と合わせて幹事の交代をどのようにするか、今後の課題としていく事とした。

次に選挙(案)の常任幹事の選出方法について、研究科の扱いを含めて今後どのような形で選出するのが望ましいかを話し合った。まず、研究科の現状を藤原氏の方から報告してもらった。「研究科の修了生は1994年から150名位いるが、そのうち他校からの転入は50名ほどで「コース」から「科」になったのはここ3年です。「科」の制度に見直されて、他校からの研究生も同窓会費を徴収しているが、それ以前のは徴収していないようです」との事だった。これを受けて秋元氏は「コース」から「科」への変更時期や、それに伴って2重に名簿に入っている会員がいるかなど、まだ不明瞭な点が多いうえ、選挙まで時間的に間に合わないとして、今期は研究科を含めない選挙(案)で進めながら、生徒へのインフォメーションも含めて、次回選挙の課題としていく方向を提案して、全員一致で決定した。

●選挙スケジュール

選挙管理担当中島氏は、選挙のスケジュール(選挙のスケジュールと内容は、先にお知らせしたとおりです)を見ながら今後の流れを説明した。今年度デザイン科選出人数の是正を行います。総勢18名ですが平成14年度対象人数が10名、平成15年度が8名で不均等のまま進行してしまうので次年度の選出人数を9名とし暫定的に総勢19名とします。作業内容や日程などは検討中のものも含まれているが、投票先(箱)の設置は学校内に置くということで了解されており、細かい調整に入っている事を確認した。

さらに学校で行う開票作業日にあたって「3月8日(土)は卒業準備で人が出払っている場合があるので確認してください」と藤原氏より通知があった。前年度の日程からすると、選挙の人選も含め3月末には常任幹事で承認をとる予定なので、開票作業日が卒業と重なってしまうが、3月8日または3月9日の日程で進行する事を確認した。投票用紙について現状は「科」ごとであるため、全員にどのような人がリストアップされているかの一覧表を別紙にて送る事を提案し、全員一致で決定した。

議題/3 次回日程

次回、3月29日(土)15:00～の幹事会日時の確認をして、幹事会は閉会した。

その他インフォメーション

●選挙管理委員会より開票日程について2月9日付けで以下の通知がありました。

3月15日(土):開票作業→会場:阿佐ヶ谷美術専門学校(予定)

↓

16日(日):当選通知(封筒)発送

↓

29日(土):常任幹事会において選挙結果報告

●在校生支援委員会(渡部氏)より

今年度の卒業式に際し、昨年同様、同窓会から卒業制作展の賞の授与と謝恩会(パーティ)に10万円の支援金を出すという通知を2月18日付けで受けました。

●議事録

書記/内田文子

校正/制作/秋元圭一・西尾雅江・小山 弘

文責/秋元圭一・西尾雅江